

横 浜 市 長 林 文 子 様
国 土 交 通 大 臣 太 田 昭 宏 様
東 日 本 高 速 道 路 株 式 有 限 公 司
代 表 取 締 役 社 長 広 瀬 博 様

「危険道路」南線計画は撤回を！

横浜環状南線（圏央道）対策連絡協議会



私達は横浜環状（圏央道）南線（以下「南線」という。）は大気汚染による喘息、肺がん発生や地盤沈下による住民の生命、財産への被害など大変な公害道路として 1988 年以來 20 年以上にわたり計画の抜本的見直しを求めてきましたが、起業者はこれに一切耳を貸さず一方的に事業を進めてきました。

最近、起業者は南線の釜利谷トンネルと日野ずい道が交叉する部分の補強工事を進めるに当たりトンネルとずい道が交叉する計画の詳細を明らかにしました。これを見て私たちはわが目を疑うほど驚き暫し言葉もなかったのですが、それは双方があまりにも近接した計画だからです。

日野ずい道は 50 年前に横浜市が施工した幅 4 メートル、高さ 4.6 メートルの馬蹄形の空洞でその中に敷設された直径 1 メートルの導水管を通じて市民に飲料水等を供給する施設です。計画によると物流目的の高速 4 車線がこのずい道の僅か 6 メートル上に、そして 13 メートル上にランプが 4 車線、計 8 車線が敷設され、ここを 1 日に大型車中心に 5 万 9 千 400 台が走ることとなります。これがいかに人間無視の無謀なものかは言うまでもなくそのことは計画のイラスト（資料 1）を一見しただけで誰もが認めるに違いありません。また、この計画を強引に進めたとき、想像を超えた深刻な事態が発生するであろうし、そのことは専門家の意見（資料 2）からも窺うことができます。

実際、築後 50 年を経て老朽化したずい道の僅か 6～12 メートル上の高速道路トンネルを 1 日約 6 万台の大型車中心の車が走れば、平常時でも振動で緩んだ地盤の落下による人身事故とずい道破損による市民への水の供給が絶たれる事態が起きるリスクは極めて大きく、まして昨年 12 月 9 日に地震調査委員会より 30 年以内に震度 6 弱以上の揺れが発生する確率が 78% と 12 ポイントも上がったと発表された横浜市でどのような悲惨な状況が起きるかは想像するだけに慄然とします。なお、南線とこの上流に当たる笠間水道幹線が交叉する所は他に 2 か所あり、夫々水道の下 10 メートルと 17 メートルに 6 車線の高速道路が計画されています。

政治、行政の第一の任務は国民の命を守り、安心安全な生活を保障することであり、大事故発生のリスクがある「危険道路」南線について、横浜市は事業者および関係住民と住民が推薦する専門家を入れた協議会を早急に設置し、国民の命と生活を守れる確証が得られるまでは横環南の計画をいったん撤回または凍結することを強く求めます。

以上